

代表挨拶

「窓から日本を変えていく」

この言葉に込めた想いは、後世に残すべく持続可能な社会への転換を確実にすること、また、それがいまを奇跡的に生きる私たちの使命と受け止めることです。

この信念を全うするためには、財務指標上の充実(経済的価値)と社会や地球環境の課題解決(社会的価値)の両立が不可欠と云えます。

さらに時代は、人間の精神面での向上に資する文化的価値についても高い品格を求めています。マテックスは戦略的に企業文化を醸成し、これら3つの価値向上にひたむきに取り組んでおります。

世界的枠組みで挑む脱炭素社会の実現、住環境に起因する健康リスクの低減、深刻化する自然災害への対策等は、外に解決策を見出すばかりではなく、一人ひとりの思考・行動様式をどう変えるかがカギを握っているのです。

私たちは、これからも「窓の卸商社」はどう在るべきかを未来志向で問い質して参ります。

代表取締役社長
松本浩志



経営理念

「窓をつうじて社会に貢献する
「卸の精神」を貫く
信用を重んじ誠実に行動する
浮利を追わず堅実を旨とする
人間尊重を基本とする」

1928年の創業から培ってきた文化、時代や環境が変わっても大切にすべき考え方や価値観を、創業80年を機に5つの「経営理念」として明文化しました。

経営理念

コア・パーパス

コア・バリュー

コア・パーパス

「地域企業と共創し、
生活者の豊かな住まいづくりの
ソリューション(解決策)を
お届けする」

卸売りの立場から、直接のお客様はもちろん、その先にいる生活者(最終消費者)、さらには社会に何が求められているのかを考え続けます。

コア・バリュー

コア・バリューとは「根っこの価値観」。社員が仕事をする上で、判断を下したり、優先順位を定めたりするうえで「ものさし」になるものを指します。



つづく、をつなぐ。



良き伴走をする。



手段を追求する。



美点視をもつ。



YESで思考する。



プチイノベーターであれ。



包容力で器をつくる。



善響をうむ。



本当の気持ち、を丁寧に。



誠意でつくる。

歴史

1928年～

ガラス卸業の開始

1928年
松本義雄が松本硝子店創業
1949年
株式会社松本商店を設立



1969年～

事業拡大と経済的価値の時代

1969年
松本巖が
代表取締役社長に就任
1996年
3社合併により
マテックス株式会社発足



2009年～

社会的価値が選ばれる時代

2009年
創業80年 松本浩志が
代表取締役社長に就任
新経営理念を明文化
「エコ窓普及促進会」を設立



2013年～

文化的価値が問われる時代に向けて

2013年
コア・バリューを制定
2019年
コア・バリューをリニューアル
2021年
SPRING Fest始動





SDGsアクション

マテックスの事業のその先にSDGs17の目標があります。

脱炭素社会の実現に向けた場づくり

エコ窓リフォームの普及と補助金制度を援助

「エコ窓普及促進会」は、「窓」のエネルギーロス対策について広く知らせると同時に生活者の環境リテラシー向上を目的としています。



社会志向性地域企業の養成

真の健康省エネ住宅を社会に広めるために新築を手がける地域工務店まで範囲を広げ、高性能住宅のつくり方のノウハウをセミナー等を通じて提供しています。



持続可能社会の実現に向けたまちづくり

としま情熱基金や一般社団法人ロングライフラボを設立し、人、コミュニティ、地球環境が健全な状態を維持していくための持続可能な社会形成を図る活動を行っています。



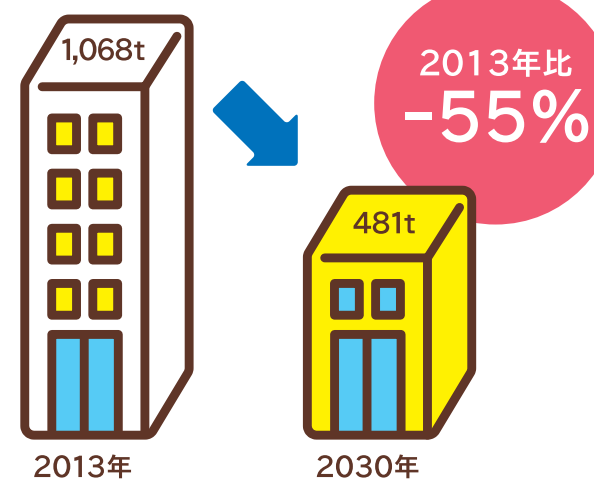
持続可能社会の実現を支えるものづくり

エコガラスの普及を製造供給する立場から支え、脱炭素社会へのシフトを加速するために環境先進国で標準仕様となっている樹脂製サッシの製造を行っています。

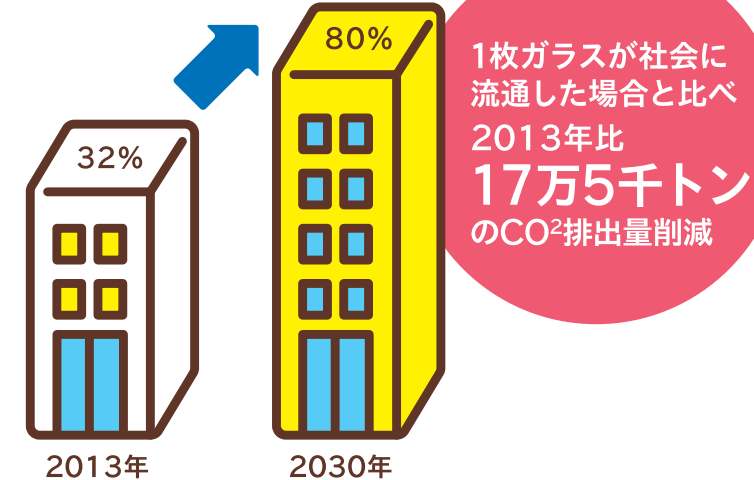


2つの数値目標

社内CO₂排出量



出荷するガラスのLow-E化比率



表彰・認証



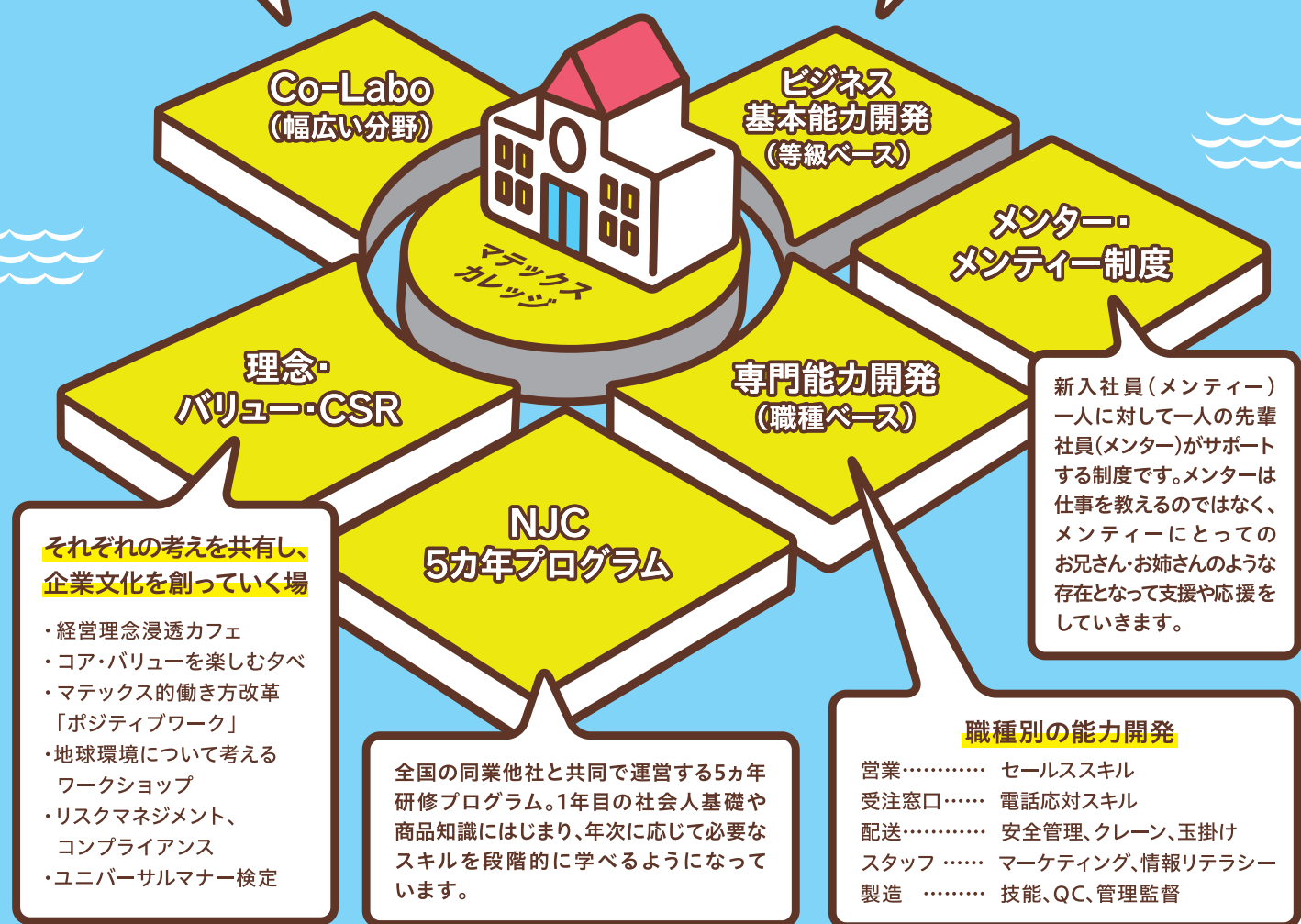
企業文化を支える人づくり

人間的成熟を目指す第3の学びの場

・社内相互講師
・テーマ自由
環境をテーマとした映画の上映会、読書会、など

等級別の能力開発

新人 | ビジネス基礎体力
中堅～初級管理職 | 培った能力の活用とマネジメント
管理職 | 全社俯瞰、部門運営力



マテックスバリューアクション(MVA)

社内の人の良い行動や考え方にフォーカスし、具体的なコメントを付したレターを贈る事でお互いを称賛し合う社内SNSです。



経営理念浸透カフェ

社長が社員とお茶を飲みながら、私たちが担う仕事の社会性の高さや存在意義について語るイベントです。



インターンシッププログラム

マテックスのインターンシップのキーワードは「実践」。学生が成長実感を得られるプログラムをご用意しています。



スイッチミーティング・アクセルミーティング

4月～5月の「SPRING Fest」にむけてスイッチを入れ、10月の「マテックスフェア」に向けてアクセルを踏んで加速する、全社ミーティングです。

